

参加者
募集

看取り

幸せな人生の最終章とは



花戸貴司さん



國森康弘さん

人生の最期を、その人らしく豊かに迎えるためには何が必要なのか。
訪問診療を通じて、患者やその家族と向き合う医師の花戸貴司さんと、
その様子を撮影、写真家として心温まる作品を発表し続けている
國森康弘さんを講師にお招きし、「寄り添い」をテーマに
地域、医療、家族などのありかたについて考えます。

日時 10月18日(日) 13時～16時
場所 浜離宮朝日ホール (東京都中央区築地5-3-2)

定員
300人
(先着順)

参加費
1,000円

プログラム

13時00分～14時00分	講演 講師	「住み慣れた地域で最期まで安心して生活するために」 花戸貴司さん
14時00分～15時00分	講演 講師	「人生の最期に寄り添うということ」 國森康弘さん
15時00分～15時20分	休憩	
15時20分～16時00分	対談 進行	「人生の最期を豊かに生きるためには」 花戸貴司さん×國森康弘さん 岡本峰子・元朝日新聞論説委員

講師のご紹介



はなとたかし
花戸貴司

医師、東近江市永源寺診療所所長

1970年滋賀県長浜市生まれ。1995年自治医科大学医学部卒業、1997年湖北総合病院小児科、2000年永源寺町国保診療所（現東近江市永源寺診療所）所長。2007年同診療所を指定管理にて運営し現在に至る。永源寺診療所では内科・小児科・整形外科などのプライマリ・ケア外来の他、訪問診療・訪問看護も積極的に行っている。医療のみではなく、介護、保健分野と連携した地域包括ケアに取り組んでいる。



くにもりやすひろ
國森康弘

写真家、フォトジャーナリスト

1974年生まれ。神戸新聞社記者を経て2003年にイラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダン、ウガンダ、ケニア、カンボジアなどの紛争地や経済貧困地域、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀県や東北被災地などで看取り、在宅医療、地域まるごとケアの撮影に力を入れている。

参加費

1,000円(当日会場でお支払いください)

定員

300人(先着順。定員になり次第締め切ります)

お申込み方法

ホームページ(<http://www.asahi-welfare.or.jp/>)からお申し込みください。

はがき、ファクス、Eメールの申し込みも可能です。参加者全員の①〒住所、②氏名、③職業、④電話番号をご記入の上、下記までお送りください。

〒104-8011 (住所不要) 朝日新聞厚生文化事業団「看取り」係

ファクス 03-5565-1643

Eメール zaitaku-t@asahi-welfare.or.jp

※聴講券を送付しますので、当日ご持参ください。

お問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団「看取り」係 電話 03-5540-7446

会場のご案内

浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地5-3-2

TEL:03-5541-8710

<http://www.asahi-hall.jp/hamariky/>

朝日新聞東京本社・新館2階
都営大江戸線・築地市場駅下車(A2出口)すぐ

その他の交通

- ・「築地駅」…東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- ・「東銀座駅」…東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- ・「汐留駅」…都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- ・「新橋駅」…JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1,2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

主催：社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

